



発行／連合神戸地域協議会

〒650-0021 神戸市中央区三宮町2丁目11-1 センタープラザ西館6階603-2号

TEL:078-322-3200 FAX:078-322-1953 E-mail:kobe@hyogo.jtuc-rengo.jp



連合神戸地協
議長
加藤 明

新年明けましておめでとうございます。

組合員ならびにご家族の皆さまにおかれましては、健やかで清々しい新年を迎えた事とお慶び申し上げます。

また、日頃より連合神戸地協の諸活動に対しまして、ご理解、ご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

昨年は、トランプ大統領の再選、韓国での大統領弾劾に伴う大統領交代、自民党衆院過半数割れ、女性初となる高市総理の就任、自民党と維新による新たな連立政権の発足といったグローバル視点でみて政局の変動が激しい年となりました。生活面でみても、令和のコメ騒動やクマ被害の頻発など、残念ながら不安を感じることの方が多い1年であったかと感じています。

また、戦後80年を迎え、戦争をかたりついでいくことの重要さを再認識した年でもありました。労働組合の歴史は戦後の歴史と同じであることから、80周年を迎える組織も多く、激動の時代の中において、連綿と引き継がれてきた団結と信頼に敬意を表します。連合神戸としても、各組織と協力しながら、これからも働く仲間の生活と権利を守る活動を進めていく所存です。

今年の干支は「丙午（ひのえ・うま）」です。「丙（ひのえ）」は陽の気が強まり、物事が成長・発展する様子を表し、「午（うま）」は勢いが強く、転換や変化の年を象徴すると言われます。両者が重なる2026年は、これまでの努力が形となり、新たな挑戦へと進む一年になるでしょう。私たちもこの勢いを活かし、前向きな活動を展開していきます。

今年の活動のポイントになるところに触れ、ごあいさつとさせていただきます。

まずは、目前にせまった2026春闘です。昨年11月に連合本部は2026春季生活闘争方針を決定しました。日本の実質賃金を1%上昇軌道に乗せ、これからのがれの“賃上げノルム”としていくこと、賃上げがあたりまえの社会の実現に向け、全力で賃上げに取り組み、社会全体への波及をめざすことが示されています。賃上げの目安は昨年と同水準の定昇相当分を含め5%としているものの、今年は“その実現にこだわる”との強い思いを表明しています。一つでも多くの組合がこの方針を実現できるよう、神戸地協としても支援をしていきたいと考えます。

つぎに、連合神戸主催の活動に関してです。基本的には昨年の定期総会で決議いただきました活動方針に基づき、構成組織の皆さんと共に進めてまいります。青年層をはじめ、組合員のご家族にも参加していただけるイベントを引き続き計画、実行していくので、是非参加をお願いします。

また、昨年秋の神戸市長選挙で連合神戸が推薦した久元市長が4選目の当選をされました。市政懇談会、予算要望、若手との懇談会など、働く仲間の意見を聞く機会を多く持ていただける久元市長に引き続き期待をしつつ、よりよい神戸のまちづくりに向けて連合神戸としても協力していきます。

最後になりますが、組合員ならびにご家族の皆さまのこの1年のご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願ひいたします。



本年も宜しくお願い申上げます



連合神戸地域協議会のみなさん、新年明けましておめでとうございます。

2026年、健やかに新年が迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、21世紀も四半世紀が過ぎました。この四半世紀は、グローバル時代と期待され情報通信技術の高度化が経済分野で絶え間なく、国境を越えて活発に活動し続けており、AIやIoT技術が日々進化を遂げて経済活動に欠かせないアイテムとなりつつあります。

そして迎えた今年、春闘本番を迎えます。これまでの「未来づくり春闘」では賃金、経済、物価を安定した巡航軌道に乗せることを目標に掲げて取り組み、2026春闘はその正念場を迎えます。

日本の実質賃金を1%上昇軌道に確実に乗せるために、賃上げの流れを、すべての働く人々に波及させるため連合兵庫に集う仲間とともに取り組んで参りましょう。

その他、組織拡大の取り組み、ジェンダー平等推進計画フェーズ2、政策制度要求実現と政治を身近に感じてもらえる仕組みづくりをはじめ、多くの課題がありますが、神戸地域協議会のみなさんとともに連合運動を推進し、「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざして参りましょう。

結びに、今年は丙午（ひのえうま）の年です。連合神戸地域協議会のみなさまにとって、全てが『うまく』いく年となりますことを祈念し、年頭のあいさつとします。



連合兵庫会長
那須 健



新しい年を迎えるにあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年秋の市長選挙におきまして、市民のみなさんからご信任を賜り、引き続き4期目の市政を担当させていただくこととなりました。私は市長就任以来、常に「公正で折り目正しい行政」を貫き、あるべき自治体の姿を追い求めてきました。これからも初心を忘れることなく、市民のみなさんからの期待にお応えできるよう、全力を尽くしていく所存です。スピード感をもって先駆的な施策を展開し、次の時代に誇ることができる神戸を築いていきます。

今、神戸のまちは、大きく変わりつつあります。都心三宮、ウォーターフロントでは新たな賑わいと美しい風景が生まれ、郊外では拠点駅を核に、まちが新たな表情を見せ始めています。神戸空港の国際化を契機に、神戸は新たな国際都市としての可能性を手にすることができます。神戸空港島の将来構想の策定や空港ターミナル機能の強化に取り組むなど確かな成長へと歩みを進めていきます。こうしたまちの成長を市民一人ひとりの暮らしの豊かさへと着実につなげていくことが必要です。目先の人口増を追い求めるのではなく、将来の世代に対して、責任を持って引き継ぐことができる持続可能なまちづくりを進めます。

都市の繁栄は災害に強い、強靭な基盤があつて初めて成り立ちます。災害や感染症などあらゆる危機から市民を守る安全・安心なまちづくりに引き続き取り組むとともに、子育て支援のさらなる充実、教育環境の整備、地域医療や福祉の強化など、すべての世代がいきいきと暮らせる「人間らしいあたたかいまちづくり」に注力します。神戸は自然と暮らしが調和するまちです。森林や里山の再生やまちの緑化に向けた「森の未来都市・神戸」の取り組みや再生可能エネルギーの活用など、自然と共生するまちづくりを進めていきます。

これらを実現するためには、市民のみなさんの参画が不可欠です。対話を重ね、学生や企業・地域団体などの多様な主体による地域協力を一層推進していきます。

末筆ではありますが、本年がみなさんにとって、すばらしい一年となりますことをお祈りいたします。



神戸市長
久元 喜造



連合神戸地域協議会に集う皆さんに於かれましては、初春を穏やかにお迎えになられましたこと心よりお慶び申し上げます。

平素より、「こうべ未来市会議員団」の活動にご理解を頂いておりまこと、心よりお礼申し上げます。「こうべ未来市会議員団」を結成し3年目を迎えます。立憲民主、国民民主のメンバーが集い、「建設的な提案をすること」、「議員提案条例をつくること」をテーマに神戸を前に進めています。働く皆さまの拠り所となる核になりたいと考えています。

久元市長を支える与党の一角として、パフォーマンスや政治情勢に流されることなく、神戸市民の安心・安全のため責任ある会派として今年も挑んで参ります。

ここ数年、神戸市の財政状況は安定期に入りました。未来の神戸に必要な事業にはしっかりと投資しなければなりません。神戸空港の国際空港、三宮再整備、ウォーターフロント整備などです。2月からはじまる予算市会では、神戸を強くするハードの面の提案や、働く仲間や市民が安心していただけるように福祉・子育て・教育に関わるソフト面での「人への投資」についてしっかりと提案して参ります。

最後となりましたが、連合神戸地域協議会に集う皆さんのご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年に併せてのご挨拶とさせていただきます。



こうべ未来市会議員団長
よこはた和幸